

EPISTULA

大分県立芸術文化短期大学広報誌 エピストゥラ

Oita Prefectural College of Arts And Culture
Public Relations Magazine

EPISTULA

Oita Prefectural College of Arts And Culture
Public Relations Magazine

#054

2019 Spring

大分県立芸術文化短期大学広報誌「EPISTULA」2019年3月10日発行 通巻54号 「EPISTULA」：古典ラテン語で「手紙」という意味です。広報室からみなさまへ、芸文短大の「いま」を伝えるお手紙をお届けします。

EP19-09

【特集】
キャンパス整備情報・退職される先生方からのメッセージ
美術・音楽・国際・情コミ 全4学科 1年間の活動報告



大分県立
芸術文化
短期大学

OITA
PREFECTURAL
COLLEGE OF
ARTS
AND CULTURE

【表紙モデル】美術科 デザイン専攻 グラフィックアートコースのみなさん

INFORMATION

2019 1 JAN. - 3 MAR.

春から始めよう! 芸短オープンカレッジ 前期受講者募集中!

「芸短オープンカレッジ」では、どなたでも芸文短大の知・芸術に触れていただける各種講座を開いています。ピアノや油彩画、外国語にプログラミング(小学生対象)といった、芸術系と人文系を併設した本学ならではの多彩な講座をご用意。ご参加お待ちしております。
※募集期間や開催日時は講座によって異なりますので、詳細は本学HPをご覧ください。



学生と一緒に学ぼう! 公開授業 受講者募集中!

「公開授業」とは、芸文短大の講義を公開して、県民の皆様にも参加していただくという制度です。本学の教室で、学生と机を並べて学んでみませんか?
※受講できる授業や申込方法等の詳細は、本学HPをご覧ください。申込べ切は3月27日(水)です!



ゲイタンをタイケン! オープンキャンパス2019

7月と9月に開催するオープンキャンパスは、芸文短大の魅力をギュギュッと凝縮!学科ごとにさまざまなプログラムを用意しています。今年は学科によって開催日を変えていますので、気になる学科を全部体験できます♪
※詳細は6月中旬に本学HPでお知らせします



新・附属図書館を 利用してみませんか?

平成30年9月に開館した附属図書館は、学外の方(18歳以上)のご利用も可能です。県産材をふんだんに使用し、趣のある施設となった附属図書館を、是非ご利用ください!
※利用方法等の詳しい情報は、「附属図書館ホームページ」をご覧ください



EVENT CALENDAR

※各イベントは変更になる場合があります。

- | | |
|-------------------------|-----------------------------------|
| 3 MAR. | 4 APR. |
| 18日(月) 第57回音楽科卒業演奏会 | 5日(金) 入学式 |
| 19日(火) 第35回専攻科音楽専攻修了演奏会 | 6日(土)・8日(月)・9日(火)
新入生オリエンテーション |
| 20日(水) 卒業式・専攻科修了式 | 10日(水) 前期授業開始 |



第56回音楽科卒業演奏会の様子

情報を
いち早く
Get!



大分県立芸術文化短期大学の公式Facebookでは、本学が主催するイベント・展覧会等のお知らせをはじめ、キャンパス内の様子や学生たちが行うさまざまな活動について報告しています。また、サークルやイベント、研究室等でもFacebookを立ち上げています。



大分県立
芸術文化
短期大学



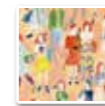
美術科
ビジュアル
デザインコース



美術科
グラフィックアート
コース



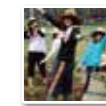
美術科
プロダクト
デザインコース



音楽科



国際総合学科



情報
コミュニケーション
学科



<https://www.oita-pjc.ac.jp>

【退職される先生方からのメッセージ】

この3月をもって、芸文短大を4名の先生が退職されます。先生方の退職を記念し、お別れの言葉をいただきました。

Q.1 芸文短大へ着任したのは何年ですか？

美術科美術専攻【絵画(日本画)】教授

河上 央

昭和61(1986)年

結婚式を東京であげて大分に帰って来た時に、大学の研究室の扉に中原先生と学生達で作った段ボールで作ったハートの飾り物を見たときは驚きました。また、学生達と泊まり込みで壁画制作を行った時のこと、制作期間中に誕生日を迎えた学生のために数十人が食べられるケーキを注文し、みんなで楽しく祝ったことがありました。学生達で買い出しや食事作りをしながら制作に励み、完成後、壁画の横に、みんなでサインしたのを覚えています。

昨年からの研究室の引越しでダンボールに書類を詰めたり、本をまとめたりと、30数年間ため込んだものの整理で四苦八苦。人生の半分を芸文短大で過ごしました。ここ数年で学生の気質も少しずつ変わり、作品も変化してきています。作品創りも自分を見つめる大切な時間です。努力して何かを発見しようとする行為こそ、社会に出ても役立つものだと思っています。その努力する姿勢や学んだ基礎力は、これからの人生で活かされます。流行に捉われず継続して物事に取り組んでください。



山口県周南市出身。東京芸大後期博士課程満期退学後、しばらく関東で暮らしていました。大分県立芸術短期大学(現大分県立芸術文化短期大学)には、母校の芸大で教員公募を見て応募して来ました。最近の日課は、犬の散歩です。以前飼っていた犬が死んでしばらく散歩が途絶えていましたが、再開して周りの風景を見ながら絵の構想を練っています。

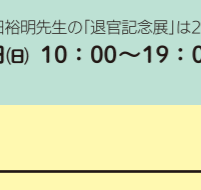


平成17(2005)年

こちらに赴任することになり、初めてパソコンというものを始めました。来る日も来る日もパソコンと格闘して、楽器と向き合う時間より長くなってしまった日もありましたね。今でも苦手です。あと、思い出に残っていることは教育実習の巡回指導でいろいろな場所に行けたことです。長崎県の人口800人の島とか、個人的には訪れることはないであろう場所に行く機会をいただき、地元の中学生や先生方にお会いしてお話したりとても貴重な体験をさせていただきました。九州の美しい自然にめぐりあえたのは良い思い出となりました。

若い学生さんと一緒に勉強できた14年間は本当に楽しかったです。私もたくさんエネルギーをいただきました。2年間若しくは4年間の皆さんの成長は素晴らしいものがあり、その間の変貌ぶりには感動をおぼえることが多々ありました。このエネルギーと探究心をいつまでも忘れず、人生をのりかいていってほしいと思います。私の側から発信したものが少しでも皆さんの心に残っていただければ幸いです。皆さんと出会ったことで私もたくさんの体験や勉強をさせていただきました。ありがとうございました。素晴らしい大人になった皆さんとまたどこかでお会いできるのを楽しみにしています。

東京都出身。桐朋学園大学卒業後ドイツに留学していました。フライング音楽大学ソリストディプロマ修得後帰国し演奏活動をしながらフェリス学院大学及び桐朋学園「子供の為の音楽教室」の講師をしていました。その後大分にきました。趣味は旅行と料理ですが、現在はそれに費やす時間があまりないのが残念です。



平成10(1998)年

美術科美術専攻【彫刻】教授

原田 裕明

平成10(1998)年

彫刻専攻の学生は約3ヵ月間制作した粘土原型作品を卒業制作展に出品するために、型取り技法を学びながら樹脂原型に完成させる作業を年に3回ほど実施します。一気に仕上げる作業が朝から夕刻まで休みなく続きます。学生達と相談してスケジュールを立て土日の休日に集合して、ストーブの上でつくる焼き芋を食べながらの作業になります。それは毎年、卒業する学生との緊張感と一体感のある楽しい思い出の一コマとなっています。

「自分とはなにか?」なかなかわかりにくいものです。わからないから不安でもあり、希望でもあるようです。二十歳前後の大学生という、人生で最も貴重な時間を与えていただいた年齢で制作に没頭し、今の時に集中し、不安と希望にどっぷりと浸って欲しい。あなたが何故この短大に入り、この専門分野を選んだか、それにはきっと素晴らしい理由があるはず。夢中になって日々を過ごしてください。いつかその理由がわかる日がくるために。



大分県別府市出身。理系の学部に進学して興味で始めた絵画が面白くなり中退。美術が勉強できる大学に進路変更。以来大学で出会った彫刻の制作を45年間続け、自伝展を中心に発表しています。高校教員21年間と短大教員21年間の教育と彫刻制作に専念できた42年間に感謝しています。これからも学び、制作を続け、どんな芸術の景色を眺めることができるか楽しみにしています。

音楽科【教職課程】教授

佐藤 淳介

昭和61(1986)年

芸文短大は美術科と音楽科だけの短大でした。初日すごく緊張して教室に入ると、チョークが見当たりません。そこで「チョークはどこにあるの?」と聞いたら、「チョークは自分で持ってくるんじゃ!」と言われ、とても怖くて最後まで真っ白でした。人文系が増設されて情コミの授業も担当することになりました。佐藤ゼミの研究テーマは各自自由としました。なかにはジャーナリズムの研究とか出てきて、それなりにまとめるのが大変でした。

大学にいる間に社会になじむような経験を積むことが大切だと思います。いろいろな人とまよくコミュニケーションをとることが卒業してから必要とされるからです。そのためには自分から進んで社会の活動に参加して経験を積むことが大切です。美術科・音楽科の学生も、自立を目指して、どんどん社会経験を積んでください。そして2年後でも4年後でも、しっかり就職ができるように自分にあった目標を立てて勉強していきましょう。



大学の頃は鎌倉で小学生の家庭教師をしていました。大学の時は他のバイトをしていました。400ccのバイクの「相模(さがみ)」ナンバーを見て、先生のバイクは「すもろ(相模)」って書いてあると騙されました。

【キャンパス整備情報】



音楽ホール棟がついに完成!
4月から共用を開始します

300名収容可能な音楽ホールや講義室、練習室等の教育機能と、レストラン等の厚生機能を持つ複合施設。県産杉材をふんだんに使用した雲上木屋根を仰ぎ見る、木の香りあふれるエントランス、オーケストラ・吹奏楽の練習や発表に加え、美術の作品展示や講演会等、多目的な利用も可能な音楽ホール、そして大学中心部の交流広場に面したレストランは、学生だけでなく芸術緑丘高校の生徒や地域住民も利用できます。

平成30年6月



平成31年1月



◎エントランス



◎レストラン



◎音楽ホール



◎楽屋



◎アンサンブル室



◎音楽講義室

お知らせ 「退官記念 河上 央展」 ※原田裕明先生の「退官記念展」は2020年に同美術館で開催される予定です。 ◎日時：平成31年3月26日(火)～31日(日) 10:00～19:00 (※最終日は16:00まで) ◎場所：大分県立美術館 OPAM 3F 展示室 B

GEITAN FESTA 2018

芸短フェスタ後半報告

オペラサークル Opera Piena di Vita 第26回公演 喜歌劇「メリー・ウィドウ」 12月28日[金]

Opera Piena di Vitaとは、自らの手でオペラの公演を志望する学生によって発足した、音楽科を有する本学ならではのオペラサークルです。今回は世界で最も人気のあるオペレッタ(喜歌劇)のひとつ、フランツ・レハール作曲の喜歌劇「メリー・ウィドウ」を日本語訳で上演しました。九州の方言が飛び出すなど、コミカルな動きや携帯電話を使った学生ならではの演出に、会場は大きな歓声と笑いに包まれていました。



創作音楽劇 Johann ~ヨハン・シュトラウス二世の生涯~ 12月19日[水]

ワルツ王と言われたヨハン・シュトラウス二世の生涯を、本学4学科の学生と卒業生が舞台化し、iichiko総合文化センター iichiko音の泉ホールで披露しました。ウィーン現地で取材した映像をバックに、音楽科の学生による生演奏や美術科の学生による美術セットなど、通常の劇とは一味違う本学ならではの音楽劇となりました。



学長プロジェクト シューマンの夕べ 11月29日[木]

iichiko総合文化センター iichiko音の泉ホールにおいて芸短フェスタ2018学長プロジェクト「シューマンの夕べ」を開催しました。ピアノに本学客員教授の小林 道夫先生をお迎えし、音楽科教員の愛甲 久美教授(メゾ・ソプラノ)、行天 祥晃准教授(テノール)、林 満理子准教授(ソプラノ)が独唱で出演しました。



1回の舞台経験は、100回の練習に勝る!

音楽科ではこの言葉をモットーに、学生たちにできるだけ多く、本格的なステージに立って演奏する機会が与えられています。今年度もさまざまな演奏会を多彩なプログラムで開催しました!

	若さあふれるコンサート 9月15日(土)		第54回 定期演奏会 10月14日(日)		ピアノコース 演奏会 ～ピアノ音楽への誘い～ 11月14日(水)
	管弦打コース 演奏会 ～師走に心温まるひとときを～ 12月12日(水)		声乐コース 演奏会 ～声の響宴～ 2月8日(金)		地域巡回演奏会 9月10日(月)・11日(火)

芸短フェスタ

▶ 宮本修トーク&コンサート『中田喜直を歌う』

11月30日(金)

音楽棟小ホールにおいて「宮本修トーク&コンサート『中田喜直を歌う』」を開催しました。音楽科名誉教授の宮本修の独唱と、本学音楽科を卒業した吉元優喜乃演奏員のピアノで、中田喜直氏作曲の日本歌曲を17曲披露しました。



▶ パーカッショングループ ミレニアム 20thコンサート

12月7日(金)

芸短フェスタ2018の一環として「パーカッショングループ ミレニアム 20thコンサート」をiichiko総合文化センター iichiko音の泉ホールにおいて開催しました。マリンバやピラフォンが奏でる美しい音色や、身体中に響く太鼓の迫力に観客たちは引き込まれていき、アンコール曲「情熱大陸」では観客も手拍子を叩き、会場全体が一体となり閉幕しました。



研究・作品発表会

▶ 電子音響音楽演奏会 1月18日(金)

音楽講義室において音楽情報機器演習B(担当:音楽科松宮圭太講師)を履修する学生が制作した楽曲等を披露する「電子音響音楽演奏会」を開催しました。



▶ 理論コース 卒業研究発表会 1月30日(水)

芸術デザイン棟講義室において、音楽科理論コース2年生による卒業研究発表会を開催し、発表者各自が設定したテーマに基づいて、楽曲分析やフィールドワークをした研究の成果発表を行いました。



▶ 特別公開レッスン 世界的に活躍する音楽家による公開レッスンを開催しました。

声乐
8月7日(火)～10日(金)
三縄 みどり 特別講師

ピアノ
12月24日(月・振)～26日(水)
小林 道夫 客員教授

声乐
1月12日(土)・13日(日)
佐藤 美枝子 客員教授

声乐
1月19日(土)・20日(日)
小林 道夫 客員教授

Cover of Epistula vol.52



vol.52号では、「第54回定期演奏会」にオーディションで選ばれたソリストで出演したピアノコースの皆さんが登場しました。特集ページでは演奏曲の聴きどころや意気込みを語ってくれました!

大分県内各地で多彩なアート活動

美術科では今年も作品展にワークショップ、講演会とさまざまな活動を積極的に大分県内各地で行いました。

▶ 第57回 美術科 卒業・修了制作展

1月29日(火)～2月3日(日)

美術専攻は絵画65点、彫刻16点を展示。デザイン専攻ではビジュアルデザイン、メディアデザインA・B、プロダクトデザインの分野ごとに63点が展示され、初日から多くのメディアの方、学生のご家族や一般の方々にお越しいただきました。



▶ SO GRAPHICS 1月30日(水)～2月4日(月)

2019年度より新設される、デザイン専攻グラフィックアートコースの制作スタイルをご覧いただける機会として企画し、今年で2回目の開催となりました。グラフィックアートコースでは、複製芸術によるプリント表現を主にフォトグラフィ、イラストレーションを柔軟に取り入れた思考を研究し、現代アートやさまざまなアートプロジェクトから次世代の新しい視点を学びます。



▶ 「地域ふれあいアート講座」 11月20日(火)

本学学生と児童が美術を通して交流を図る「地域ふれあいアート講座」を玖珠市立北山田小学校で開催しました。「夜の街並みをつくろう」を創作テーマとして、美術専攻1年生26名と北山田小学校3、4年生35名の児童たちが一緒になって、作品作りに挑みました。



▶ 芸短デザインスクール「現代美術二等兵」

11月17日(土)

芸短フェスタの一環として「現代美術二等兵」の籠谷シェーン氏、ふじわらかつひと氏をお招きし、「たどり着いたらいつも駄美術」と題した講演会を本学大講義室において開催しました。「現代美術二等兵」とは、菓子の世界に駄菓子があるように、現代美術の中にも「駄美術」があっていいのではと芸術活動されているアートユニットです。

第1部ではこれまで制作した作品の紹介や制作の経緯などを写真や動画で紹介していただきました。第2部では大分合同新聞社の記者や美術科の学生らとのパネルディスカッションを行い、デザイン業界の年表を用いながら、現代美術二等兵の活動を分析していただきました。



▶ 別府公園油彩画スケッチ

11月17日(土)

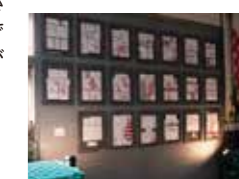
芸短フェスタの一環として「別府公園1日油彩画スケッチ」を別府公園で開催しました。26名の方にご参加いただき、10時の集合から16時の解散まで、皆さんとても楽しい時間を過ごされていました。



▶ あかよろし

10月26日(金)～11月11日(日)

べっぶ駅市場の空き店舗にて、専攻科造形専攻グラフィックアート分野の専攻科生による作品展「あかよろし」を開催しました。べっぶ駅市場の空き店舗という普段は立ち入ることのできないスペースを利用し、各々が別府の街から感じたことをプリントメイキングや写真、イラストレーションなどさまざまな手法で表現した作品が並びました。



地元と連携した活動の数々で社会人をさらに磨く

学内外での活動が光る情報コミュニケーション学科では、日頃の学習・研究の成果を一般の方々に公開する場を設けています。

▶ 地域活動フォーラム 1月8日(火)・15日(火)

人文棟大講義室において、「芸文短大 地域活動フォーラム」の2日間を開催しました。「地域活動フォーラム」とは、学んだことを地域で活かし、地域で活動することで学びの意味を考える授業「サービラーニング」の中で取り組んだ活動を学生が報告するものです。高校生や、企業・団体の方々も聴講に訪れ、学生の発表への感想などもいただきました。



▶ 卒業研究発表会

2月4日(月)・5日(火)

人文棟大講義室において卒業研究発表会を開催し、2年間の集大成である卒業論文の概要を、学生自ら創意工夫して発表しました。

情報コミュニケーション学科の卒業研究発表会は毎年人文棟大講義室で行っており、今年も他のゼミの学生や後輩、一般の方々に聴講していただきました。



心理スポーツコース	地域ビジネスコース	情報メディアコース
フェイスシールド販売による集客企画について →大分トリニータ集客大作戦3年目の実績- きょうだいの満足感に関する研究	大分県内の地域別農産物ブランド化に関する研究 大分県内4市町の高校生の進路タイプに関する研究 地元を離れない若者についての考察	VRのリスクと健全な発展 海賊版サイト・アプリと著作権の意識 アニメ動画の魅力 →制作技術の視点から- 施設紹介ビデオの制作 →新図書館の紹介- 建築物紹介ビデオの制作 →シユテファン大聖堂- 深層学習における重み値 →ポイントを絞ることで学習の精度は向上する- 広告におけるキャラクターの役割
BGMのテンポと認知性が作業効率に及ぼす影響 一人でする?、一緒にする? : 日常行動の個別性と集団性 SNSに書き込む理由 : ストレスおよび自己愛との関連	羅漢寺の歴史調査 →VRで昔の羅漢寺を再現するための研究- 女性のワーク・ライフ・バランス 商店街の衰退経緯と活性化について →大分県佐伯市仲町商店街を対象に- インバウンドのこれまで、これから	公開ダイエットのメリットとデメリット ペットの飼育経験と思いやり行動



▶ ピアヘルパー資格取得者が過去最高!

12月に実施されたピアヘルパー資格試験に、情報コミュニケーション学科の学生40名がチャレンジし、そのうち37名が合格しました。(合格率92%・全国平均85.6%)
単位も含めた2年生の最終の資格取得者は66名となり、平成20年にこの資格を導入してからの11年間で過去最高の取得者数となりました!(希望者69名中66名、取得率95.7%)

「ピアヘルパー」とは、仲間を心理的に助ける人という意味で、心理学やカウンセリングの学習を深めることによって、友人などの親しい人たちの悩みや人間関係の相談に応じる力を高めます。卒業後は医療系の事務や福祉施設等に就職する学生もあり、ピアヘルパー資格が大いに活かされると期待しています。そして、コミュニケーション能力が求められる今、さまざまな職種でもこの資格が活かせるチャンスがあると思います。



▶ 竹楽の取組みで感謝状をいただきました

サービラーニングの一環として本学学生が取組んできた「竹楽」(NPO法人 里山保全竹活用百人会・竹田市主催)での活動が、里山保全活動並びに観光振興に貢献したとして、NPO法人 里山保全竹活用百人会から感謝状をいただきました。

「竹楽」開催中の3日間、学生たちは廣瀬神社の竹灯籠の蠟燭交換と点火、市内の各会場における点火作業の支援などを行いました。また、竹楽の活動を広報するため、Facebook、ツイッター、Instagramなどのツールを使って情報を日本全国、全世界に発信する活動を行いました。



Cover of Epistula vol.53



vol.53号では、芸短フェスタの一環で開催した創作音楽劇「Johann2〜ヨハン・シュトラウス二世の生涯〜」のキャストの皆さんが、舞台衣装で登場しました! 4学科の学生それぞれの力が結集した、本学ならではの音楽劇となりました。

さまざまな国際交流や魅力ある講義を実施

国際総合学科では、毎年さまざまな国際交流が図られています。外部講師や国際総合学科の教員によるユニークな講義も多数実施しました。

▶ 中国・江漢大学からの留学生がやってきました!

本学では、2009年2月に中国武漢市にある江漢大学と交流に関する協定を結び、2013年度から毎年数名の留学生を受け入れています。今年度は6名の留学生を迎え、本学学生らと1年間交流を行いました。

茶道体験や、10月にコンパルホールで開催された「OITA学生提言フェスタ〜留学生による日本語スピーチコンテスト」では、留学生・陳銀霜(ちん・ぎんそう)さんが優良賞を受賞するなど、活躍しました。



▶ ボルネオ植林研修に参加

今年度もNPO法人「緑の大地の会」が主催する、マレーシア・サラワク州にあるボルネオ島での植林ボランティアに、8月15日〜19日の渡航で国際総合学科の学生8名が参加しました。

クチン市でホームステイをしながら、現地で熱帯雨林を管理する人々や、大分県から参加した社会人ボランティアの方々と共に植林活動を行いました。



▶ 芸短オープンカレッジ「ハワイ文化講座」

9月18日(火)、城田愛准教授が20年以上にわたるハワイ調査から得た知識やグッズを用いながら、ハワイについて詳しく、多角的に考察しました。第3回目となった今回は「ハワイにおける教育」についてとりあげました。



▶ 講演会「サイクルツーリズムと地域商社ビジネス」

11月29日(木)、観光ビジネス論の特別講師として高橋幸博氏(一般社団法人 北海道サイクルツーリズム推進協会 代表理事)をお招きしました。

講演会では、高橋氏の経歴や現在関わっている事業の紹介とともに、事業コンセプトの考え方などプロジェクトを形づくる経緯(プロセス)について写真や動画をしながらお話しいただきました。



▶ 美術家・映像ディレクター 西野正将氏 上映会&トーク

12月7日(金)、西野正将氏(本学美術科デザイン専攻卒業生)をお招きし、本学学生と一般参加の方を対象とした上映会&トークを開催しました。西野氏から学生時代の作品から近年の作品まで紹介いただき、映像ではなく「映像的な視点」で日常の風景を切り取った作品などを、制作の経緯や作品に込められた意図を解説していただきました。



▶ ミニアメリカ映画祭

12月8日(土)、米国スミソニアン博物館フォークライフ・文化遺産センターでプログラムキュレーターを務めるジェームズ・ドイッチュ氏を特別講師にお招きし、「ミニ アメリカ映画祭」を本学大講義室において開催しました。この催しは「多文化理解論」特別公開イベントで、アメリカ映画から現代アメリカの多文化社会の実像を探ることを目的に、前回の2015年以来3年ぶりの開催となりました。



「J-MELO」公開収録に 本学音楽科生が出演しました

11月9日(金)、「第33回国民文化祭 おおいた2018」の応援事業としてNHK大分放送局において「J-MELO」の公開収録が行われ、本学音楽科の学生らが参加しました。



「J-MELO」は、日本の音楽シーンを世界に向けて発信するNHKの国際放送番組です。今回は司会のMay J.さん、ゲストに大分県出身の南こうせつさんを迎え、トークや、本学学生を含む地元大学生と共演したライブが収録されました。

「地域社会特講II」で 選挙出前授業を実施しました

11月13日(火)の「地域社会特講II」で、大分県選挙管理委員会と大分市選挙管理委員会による選挙出前授業を実施しました。この出前授業は、県選管と市町村選管が、主権者教育の一環として県内の高校や大学などで実施しているもので、当日は選挙制度の意義等の講義や実際の投票用紙等を使った模擬投票を行いました。学生の中には、出前授業を参考に、周りの同世代を巻き込んで投票することを期待します。



「アートマネジメント実習報告」 オペラのバックヤードツアー を行いました

11月17日(土)、iichiko総合文化センターでの「オペラの祭典 イタリアの愛と情熱」において、舞台監督の小栗哲家さんのご協力を得て、本番前の時間を使ったバックヤードツアーを行いました。



一部のモンテヴェルディ作曲「ポッペアの戴冠」で総合演出を担当する小栗哲家さんが講師となり、舞台用語が歌舞伎に由来しており「寸や尺など長さの単位が現在でも使われていること」や欧米と日本との舞台の違い、劇場とホールとの違いなどを丁寧に説明していただきました。オーケストラピットやオペラで使用される字幕装置などを小栗さんの解説とともに間近で見学させていただきました。

大分県立美術館の展覧会鑑賞と バックヤード見学を行いました

12月15日(土)、大分県立美術館OPAMのコレクション展鑑賞とバックヤード見学を行い、副館長の加藤康彦先生に施設の説明とコレクション展のご案内をしていただきました。そのほか、2013年に美術コレクター利岡誠夫さんから寄贈された「OPAM利岡コレクション」も鑑賞し、幅広いジャンルのアート作品に出会い、充実した展覧会鑑賞とバックヤードツアーとなりました。参加した学生たちも今回を機に県立美術館を見る視点が変わったのではないかと思います。



民間学童保育「あすらん」の 子ども達と交流授業を行いました

12月26日(水)、「現代生活論(情報コミュニケーション)学科 安倍尚紀講師担当」を受講する学生と、民間学童保育「あすらん」の児童30名と引率の先生方3名が交流授業を行いました。「あすらん」とは、年長から小学校6年生までのお子さんを対象とした民間の学童保育です。児童と学生が混じったグループを作り、配られたカードに書かれたキーワードをジェスチャーで表現するワークショップを実施しました。10分間という短い相談時間で、学生は児童とコミュニケーションを取りながら、キーワードをどう演じるか、役割はどうするか等を一生懸命考えていました。



「文学」の授業で 百人一首大会を開催しました

1月7日(月)、「文学」(国際総合学科 長福香菜講師担当)の授業の一環として、履修する学生43名の参加により百人一首大会を開催しました。「文学」の授業では、日本の伝統的な言語文化である「くずし字(変体仮名)で百人一首」を学んでいることから、年明け最初の授業の中では新年の伝統行事である、かるた取りを実際に行い、日本文化に触れるとともに、百人一首への理解を深めることとしています。普段接点の少ない他学科の学生とコミュニケーションをとる良い機会にもなりました。



1月7日(月)、「文学」(国際総合学科 長福香菜講師担当)の授業の一環として、履修する学生43名の参加により百人一首大会を開催しました。「文学」の授業では、日本の伝統的な言語文化である「くずし字(変体仮名)で百人一首」を学んでいることから、年明け最初の授業の中では新年の伝統行事である、かるた取りを実際に行い、日本文化に触れるとともに、百人一首への理解を深めることとしています。普段接点の少ない他学科の学生とコミュニケーションをとる良い機会にもなりました。

赤い羽根ボールペン 募金贈呈式を行いました

1月31日(木)、赤い羽根ボールペンを活用した募金の贈呈式を本学学長室で行いました。「赤い羽根応援プロジェクト」のメンバー6名と指導する教員が出席し、メンバー代表から社会福祉法人大分県共同募金会吉田常務理事・事務局長に募金の目録が手渡されました。今年度の「赤い羽根応援プロジェクト」で配布したボールペンはおよそ400本、合計十二万二千六百六十円の募金が集まりました。皆さまご協力ありがとうございました！



芸短オープンカレッジ オペラ講座発表会を 開催しました

2月3日(日)、本学音楽棟小ホールにおいて、芸短オープンカレッジ後期、オペラ講座の受講生18名による発表会を開催し、さまざまな世代の受講生が半年間の練習成果を披露しました。



発表会は、初心者コースと経験者コースの2部構成で行われ、指導した音楽科の愛甲久美教授と行天正恭准教授が曲の解説と指揮(兼プロンプター)を行いました。初心者コースには、初めて人前で歌うという方もいましたが、指導どおりに丁寧に歌う姿勢と楽しい演出で会場は盛り上がりしました。経験者コースでは豊かな表現力と迫力あふれる歌声で観客を魅了しました。

サイバー防犯ボランティア 「めじろんおおいだ見守り隊」 の委嘱式を行いました

11月29日(木)、本学においてサイバー防犯ボランティア「めじろんおおいだ見守り隊」に参加する学生13名に対して大分県警からの委嘱式が行われました。「めじろんおおいだ見守り隊」とは、SNSでの不適切な書き込みをはじめ、悪質サイトや架空サイトによる被害などインターネット上に潜むさまざまなトラブルを防止することを目的としており、情報コミュニケーション学科が主体となり2013年に設立され、これまでもさまざまな活動を行ってきました。委嘱式では大分県警の生活環境課長から学生へ委嘱状が手渡され、その後情報処理演習室で実際にパトロールを行いました。



デザイン・パテントコンテストで 本学美術科生が優秀賞を 受賞しました！

「平成30年度デザインパテントコンテスト」において美術科2年の岡部桃子さんの作品が優秀賞(意匠登録出願支援対象)を受賞し、さらに、本学も学内に「知的財産支援室」を設置したことや、当コンテストへの取組を進めてきたことが評価され「文部科学省科学技術・学術政策局長賞」を受賞しました。12月20日(木)に岡部さんと指導を行った情報コミュニケーション学科の野田佳那講師が、中山学長に受賞の報告を行いました。支援対象となった岡部さんの作品は、今後弁理士の指導を受け、意匠権の取得を目指します。作品の公開は意匠登録の出願後となります。



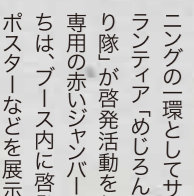
おおいだデザイン・エイド2018 パッケージデザインコンテストで 本学の学生が入賞しました！

2月10日(日)、iichiko総合文化センターにおいて、「おおいだデザイン・エイド2018パッケージデザインコンテスト」の表彰式が行われ、美術科デザイン専攻・専攻科造形専攻ビジュアルデザインコースの学生3名が奨励賞を受賞しました。「おおいだデザイン・エイド」は大分市がクリエイティブ産業の裾野の拡大、市内クリエイターの育成・クリエイターの発想や技術を活用した中小企業の販路拡大を目的に実施しているものです。その事業の一環であるパッケージデザインコンテストは、市内事業者から提供された商品題材に対する作品を募集し、優秀な作品を表彰し受賞者と中小企業とのマッチングにもつなげていくというものです。



「俱警ふれあいコンサート」 「ふれあい展示会」に本学学生が 参加しました

2月16日(土)、iichiko総合文化センターiichikoグラウンダタにおいて開催された「第31回俱警ふれあいコンサート」のゲストとして、専攻科音楽専攻声楽コースの学生が出演しました。また、音楽科の教員と学生が賛助演奏を行いました。飲酒運転撲滅キャンペーンソングの「飲んだられんや」や「翼をください」バンドと合唱のため、「さ」を美しい歌声で堂々と歌いあげ、アンコールの「ヤングマン」では踊りも披露し、会場を盛り上げました。



同センターアトリウムラザでは、「サーレ」スライニングの一環としてサイバー防犯ボランティア「めじろんおおいだ見守り隊」が啓発活動を行いました。専用の赤いジャンパーを着た学生たちは、ブース内に啓発動画、啓発ポスターなどを展示し、チラシを渡しながら説明を行いました。

キャリアプランニングで 社会人の方にお話しを 伺いました

11月23日(金)祝、共通教育科目「キャリアプランニング」で「リアルキャリアボイス」をテーマに実際に社会人として働いている方々にお話しいただき、パネルディスカッション形式でお話ししていただきました。



「大分国際車いすマラソン大会 ボランティア」大分県知事から 感謝状をいただきました！

12月21日(金)、「第38回大分国際車いすマラソン大会」(11月18日(日)実施)にボランティアスタッフとして参加した学生25名に、広瀬勝貞大分県知事からの感謝状と記念品を、中山学長から学生たちへ贈りました。大分国際車いすマラソン大会ボランティアは、毎年、通訳ボランティア会Candoのお手伝いで、大分国際車いすマラソン大会に学生が参加しているもので、海外選手との滞在中の通訳や付き添い大会当日の進行をサポートしています。参加前には研修会に参加し、競技内容や車いすの取り扱いなどを学びます。学生たちは授業で学んだ外国語を活用してサポートに務めました。



竹田キャンパス 通信

こ竹田キャンパスが本学課外キャンパスとして利用されてから、はや9年が過ぎようとしています。その間、在学中や卒業生、地域の方々の「学びの場」「制作の場」「憩いの場」として様々な形で利用されてきました。また、本年度からは新たな試みとしてオープンカレッジも開講しております。本学とは違い不便な面もありますが、この自然の中でしか学べない素晴らしい環境がここにはあります。10年目を迎える来年度もこの素晴らしい環境の中で学生達の感性の育みになるような場所であり続けたいと思います。

美術科非常勤講師 前田亮二



竹田キャンパスは、廃校となっていた竹田小学校を利用した創作活動の場です。非常勤講師の前田亮二講師が常駐し、地域と密着したさまざまなアートイベントを企画・実施しています。





「きたとなかまたち展」

美術科美術専攻2年 北林 千晴、池田 あかり
美術科デザイン専攻1年 河島 倫子、2年 児玉 友里奈、林 愛理



学内ギャラリー 作品紹介

「どこかの展」

専攻科造形専攻1年
矢沢 月



「ふたり展」

美術科美術専攻卒業生 岸本 夏実
専攻科造形専攻1年 河野 未来



「寒中お見舞い申し上げます。展」

美術科美術専攻2年
池田 あかり、北林 千晴、平松 史枝、羽田野 紀奈



「えも展」

美術科美術専攻1年 笹山 真鈴



President's column

学長コラム

日本でのオペラ文化の発展

オペラの本場ヨーロッパでは、ある程度上演した舞台装置は、新しい演目に替えるときに廃棄されていました。二期会再建に奮闘していた私がひらめいたのは、そのセットを日本に持って来られないかというアイデアでした。ビジネスをやっていた経験から、輸出入の荷物を載せて日本とヨーロッパを行き来しているコンテナ船に目を付けました。輸出より輸入が少なく、カラで帰って来ることがあったので、そこにオペラ一式を載せれば安く運べるというものです。また、持ってきた装置を保管するため、国内に大きな倉庫を持つ必要もあります。それまでは、倉庫を借りて保管していたのですが、そのコストが半端ではないことも分かったので、あまり遠くなく、土地も高くない場所に自前の倉庫を建て、オペラの道具類を保管することにしたのです。このアイデアは、ヨーロッパ側も捨てる費用が掛からず、我々も、つい最近まで本場ヨーロッパで使われていた道具を自由に使い、先方の劇場で指揮をしていた指揮者や演出家との交流ができるようになり、結果としてウィーンウィーンの関係が生まれ、相互の交流が大幅に進んだことも大きな収穫でした。

こうした取組に加えて、国内の演出家や指揮者と一緒にさまざまな工夫を凝らして数多くオペラを企画上演していく中で二期会の再建はもとより、日本でのオペラのレベルが高まり、歌手達の技術レベルの向上、全体としてのオペラ文化の発展、充実につながっています。



学長
中山 欽吾
Kingo Nakayama

「センターまつり&元気フェア 2018」 に参加しました

11月11日(日)、大分県社会福祉介護研修センター(大分県社会福祉協議会)が主催する「センターまつり&元気フェア 2018」において、赤い羽根の共同募金活動を実施しました。
参加した学生たちは募金活動を通じて、社会福祉に理解を深めるとともに、社会貢献の意義について学びました。来場された方々には募金のご協力をいただき、ありがとうございました!



「NPお母さん広場」の託児ボランティアに参加しました

10月23日から11月27日までの毎週火曜日、大分市地域子育て支援室主催の「NPお母さん広場」の託児ボランティアに参加しました。
NPとはNobody Perfectの略で、「誰も完璧なお母さんはいないので、気楽に自分らしい子育てをしましょう」という意味です。大分市では、子育て支援の一環として「NPお母さん広場」を開催し、お母さん同士の交流の機会を設けて、お母さん方が一人で悩まず、頑張りず、楽しみながら子育てができるように支援をしています。
学生たちは、お母さん方が安心しておしゃべりができるように、子どもたちの保育をお手伝いしました。大分市の子育て支援の現場での体験は、非常に貴重なものとなりました。



「津久見市人権フォーラム」 に参加しました

12月15日(土)、津久見市で開催された「津久見市人権フォーラム」に参加しました。
手話サークルの学生、情報コミュニケーション学科の学生、音楽科の学生の計17名が「Happiness」「糸」と、津久見市出身の伊勢正三氏が作詞・作曲を手掛けた「なごり雪」の3曲を手話コーラスとして披露しました。また、フォーラムでは元NHKアナウンサーの内多勝康氏による講演があり、医療的ケアの必要な子どもの短期入所施設「もみじの家」の話について聞きました。
会場では赤い羽根の共同募金活動も実施し、数多くの方々にご協力をいただきました!



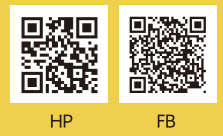
大分駅前商店街活性化 プロジェクトの発表会に参加しました

1月27日(日)、大分市役所で開催された大分駅前商店街活性化プロジェクトの発表会に参加しました。
現在、大分駅前の商店街は再開発の影響もあり利用者数が伸び悩んでおり、市内の大学生、商店街の関係者、行政関係者らで意見交換を重ね、新しい活動を模索・検討するために今年度から始まった取り組みです。
発表会の2週間ほど前から学生達が駅前の商店街を調査し、魅力や課題を洗い出し、多くの人々に利用してもらうためのプロジェクト提案を行いました。発表会には他大学の学生、大分市役所の関係者、商店街の関係者らが参加し、活発な質疑応答が行われました。



サービスマーケティングとは「大学で学んだことを地域で活かし、活動することによって学びの意義を知る」を目的とした本学の特徴あるプログラムです。単なるボランティアでは終わらない、主体性・協調性・論理性のある「社会人力」の育成を目指しています。

詳細やほかの活動は情報コミュニケーション学科HP
<http://oiapcc-dis.jp/>
同Facebookページもご覧ください!
※便利なQRコードをご利用ください!



サービスマーケティング報告

日々是精進

- 美術科
◎平成30年度デザインパテントコンテスト【優秀賞(意匠登録出願支援対象)】岡部 桃子(デザイン専攻プロダクトデザインコース2年)
◎おおいだデザイン・エイド2018 パッケージデザインコンテスト【奨励賞】武井 真生子、立野 結佳(デザイン専攻ビジュアルデザインコース1年)
- 音楽科
◎南日本音楽コンクール【入選】池田 絢(管弦打コース1年)フルート
◎第29回九州ピアノコンクール福岡地区大会【最優秀賞】川村 想乃(ピアノコース2年)
◎日本クラシック音楽コンクール全国大会【第4位】山下 真紀(管弦打コース2年)ファゴット
- 専攻科
◎おおいだデザイン・エイド2018 パッケージデザインコンテスト【奨励賞】村田 沙也香(造形専攻ビジュアルデザインコース1年)
◎第12回ベートーヴェン音楽コンクール声楽部門(全国大会)大学・大学院の部【第2位】酒井 陽菜(音楽専攻声楽コース1年)
◎第24回宮日音楽コンクール【優秀賞】柚木崎 葵(音楽専攻ピアノコース1年)
◎日本クラシック音楽コンクール【入選】友松 夕希美(音楽専攻管弦打コース1年)ヴァイオリン
◎第25回ブルクハルト国際音楽コンクール【奨励賞】田島 侑佳(音楽専攻管弦打コース1年)トランペット

GAKYUYUKAI 学友会情報



新体制となり現在10名で活動しています。初めて行ったスポーツ大会では、みんなで楽しむことができ大成功でした。参加して下さった方、ありがとうございました!そして、今年も卒業パーティーをします。未熟ながらも一生懸命、企画を考えていますので、芸文短大での最後の思い出を作りませんか?参加お待ちしております!これからも今まで以上に盛り上げられるように、頑張ります。また、みんなと楽しみたい方! イベント企画・運営をしてみたい方! 学友会メンバーになりませんか?? 随時募集しています!! よろしくお願ひします。

Twitter : @GakuyuGetan